

株式会社アンゼン・パックス

東京都港区

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

菓子用パッケージ企画のオンリーワン企業として、中小和菓子業界をリードし、海外展開にも積極的に挑戦

- 中小和菓子業界をリードするとともに、和菓子の海外展開に積極的に挑戦
- 地域 No.1 の和菓子の育成を目指し、地域性を活かした新しい形での売り方を提案
- 顧客に寄り添った“中小和菓子メーカーのソリューションパートナー”としての事業を展開

企業基本情報

所在地	東京都港区東麻布 2-15-2
電話/FAX	03-3585-0051/03-3585-9124
URL	http://www.anzenpax.com/
代表者	代表取締役社長 尾関 勇
設立	1932年
資本金	5,500万円
従業員数	28人



会社概要

1932年創業。和菓子さらに職人であった初代が、羊羹のアルミ袋を発明。全国の老舗和菓子店とともに発展し、代表商品の「ルミアカップ」（和生菓子カップ）製造においては菓子パッケージ業界のパイオニア的存在。これまで蓄積された、高いデザイン力と菓子の知識で、全国の有名和菓子店も含めて、和菓子業界全体の25%のシェアを占める全国約3,000社とパッケージ取引を実施。企業理念は「文化の香るパッケージづくり」でパッケージコーディネート力において、業界 No.1 を目指す。



画期的な業界初のかん合容器として発明された「ルミアカップ」

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 中小和菓子業界をリードし、海外展開に積極的に挑戦

「羊羹コレクション」等のプロモーション活動の一貫として、これまで和菓子メーカーでなし得なかった海外展開にも積極的に挑戦。2016年3月には全国の代表的な中小羊羹メーカー11社を取りまとめ、パリにおいて羊羹の展示・試食会をアレンジ。和菓子の羊羹を「YOKAN」としてPRし、約2,300人の集客と共に日本の高級スイーツとしての認知度向上に貢献する。このように同社が中心になり、業界の一体的なプロモーションを行うことで和菓子の海外市場開拓に向けた礎を構築。



盛況だったパリでの羊羹コレクション

▶▶▶ 地域 No.1 の和菓子を目指し、新しい形での売り方を提案

和菓子は地域との結びつきが強いため、同社としては地域性を活かした地産地消に繋がる新しい形でのお菓子製造や、売り方にかかる企画など、200事例以上において提案を行う。例えば、石川県の老舗和菓子店の「起上もなか」のリニューアルでは、「もなか」そのもののリ・ブランディングから新しいデザインを提案。当該商品は「加賀八幡起上もなか」として、地域を代表する土産菓子として売上増加に繋がるとともに、インバウンド観光のツールとして活用されている所である。



金沢でヒットした老舗和菓子店のデザイン事例

▶▶▶ “中小和菓子メーカーのソリューションパートナー”として

顧客からの様々なオーダーに対するきめ細やかな対応力を理念に、パッケージ企画・製造・デザインにおいて高い技術と共に競争力を有する。更には、顧客の菓子製造やマーケティング等の観点において企画提案を行うなど、“中小和菓子メーカーのソリューションパートナー”としての事業も展開。このような取組と、長い歴史により、現在は和菓子業界では知らない会社は無い知名度を誇る。同社の特徴的な取組ノウハウは、和菓子業界でも高く評価されている。



多くの顧客企業とシンガポールの事業会場にて